

地域・コミュニティ活性化賞

栃木トヨタ自動車

地域コミュニティー施設

「ミナテラスとちぎ」で地域に交流の場提供

栃木トヨタ（新井孝則社長、宇都宮市）は、創立75周年を記念して、2021年10月に地域コミュニティー施設「ミナテラスとちぎ」を開設し、地域に交流の場を提供している。各種イベントを実施できる貸しスペースのほか、カフェ、一時預かり専門の託児所を有し、自治体や企業などとタイアップしてイベントを開催。地域コミュニティの拠点として地域活性化へ貢献している。

施設の名称「ミナテラス」は「みんなのテラス」と「みんなを照らす」にちなんだ造語で、地域の暮らしがより心豊かになることを目指すという意味を込めた。これまでに自動車に関するイベントのほか、自治体や県内の企業・団体とタイアップして「親子の触れ合い」「食」「アート」「救急」などの分野で大小さまざまなイベントを開催。開業から約1年で延べ10万人が利用した。



専門託児所をはじめ、キッズエリアを設置しており、幼い子ども連れでも気兼ねなく安心して過ごせるよう配慮している。未就学児と保護者向けの「大



学連携親子ワークショップ」を毎月開催しているほか、地元有名シェフによる料理教室や講演会も定番企画となっている。「防災・救急」がテーマのイベ

ントには10社が参加するなど、企業・団体とのタイアップも多数開催。栃木県と連携したいちごのPRや、日光市の魅力を伝える「日光マルシェ」の開催など自治体とも連携する。

ここをきっかけとして新しい結びつきが生じるなど、交流の輪が広がりがつつある。

【選考委員コメント】

地域で交流の輪を広げることへの貢献は、地域に密着した事業活動を行う自動車ディーラーならではの活動といえる。ミナテラスとちぎという交流の場を作るだけでなく、イベントの独自企画や共催を重ね、場所を移したイベント協力など、活動の場を広げている。また地域の企業・団体間の新たな結びつきも生まれており、地域に根差し、活性化を図る活動として期待される。

一時預かり託児所や各種イベントも開催